

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

- ・ 学校園と地域人材との連携協働の充実
- ・ コーディネーター、ボランティアの人材発掘と育成

【今年度の取組紹介】

・ 羊プロジェクト

小中学校では除草目的で北側斜面に羊を放牧しています。昨年度発足された羊毛クラフトのボランティアグループである「ひつじ部」は、一年を通して活動しています。今年度は、小中学生向けの夏休み子どもプロジェクトで、ひつじ部発案の羊毛クラフト体験を行うことができました。



また、富雄公民館まつりや地域ふれあい文化交流会では、ボランティアの方々と中学生と一緒に模擬店で羊毛クラフト体験や販売活動をしました。

・ ハリソン校との交流

オーストラリア キャンベラ市のハリソン校との交流が、2年に一度の来校にあたる年でした。地域の方々の協力を得て、学校と地域の連携により、ホストファミリー、通訳、日本の文化体験（書道・茶道）などの取組を行うことができました。



【今年度のまとめ】

羊プロジェクトを通して、ボランティアの方々と中学生から、互いに「一緒に活動したい」という声があがりました。また、生徒の保護者からは「あんなに輝いている自分の子どもの姿を初めて見た」とのご感想もいただきました。地域の方々との交流で、子どもたちの新たな一面を引き出すことができました。ボランティアリーダーが活躍するひつじ部の参加人数が増え、活動が安定してきました。新しい羊毛クラフトが実現し、理想の形に近づきつつあります。

【来年度に向けて】

- ・ 学校園だけでなく、地域に出かけていく活動を広げていきたいと考えています。
- ・ 羊プロジェクトを通して、ボランティアの方々と中学生との交流をさらに深めていきます。
- ・ 活動を充実させ、さらなる発展につながるよう、コーディネーターの育成に努めます。

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりや地域のよさを感じられる取組の充実。

【今年度の取組紹介】

教員が会議などで部活動をみるできない時間帯に地域の方が校内を巡回してくださる「部活動見守り」や、放課後の時間帯や長期休業中に生徒が自学自習する場で見守りと支援をしていただくなど、地域のボランティアの皆様にご支援をいただきました。学習支援については、学力向上のために大変有効な手だてであり、今後も内容や運営方法を改善し、継続していきたいと考えています。

今年度は8年生の職業体験学習において、受け入れ事業所の開拓をはじめとして、例年にも増して地域ボランティアの皆様にご協力いただき、受け入れ先事業所の業種の拡大を実現することができました。生徒たちは緊張しながらも、非常に有意義な体験学習であったという感想を残しています。

今後もこうした取組を継続、拡大していきたいと考えています。



【今年度のまとめ】

地域教育協議会設立から8年、年ごとに、地域と小中学校との結びつきが強まってきました。環境整備支援、読書活動推進、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等、多くのボランティアが参加してくださっています。子どもたちと地域の方々との出会い、ふれあい、多くの経験をする中で、大人も子どももこの地域の中での存在意義を強く意識することができました。また、「めざす子ども像」について学校と地域との話し合いの機会をもって「思い」を共有したことは、小中一貫教育推進の大きな推進力となりました。一方、多くの方にボランティア登録していただきながら、参加していただく機会が少ないことが課題で、今後とも、改善していく努力が必要と考えています。

【来年度に向けて】

「学校支援情報」と「ボランティアカレンダー」の配布やホームページによる広報を継続しながら、学校もボランティアもともに「良かった」と思えるような活動内容と、十分な活動機会を設けるように工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。

学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりや地域のよさを感じられる取組の充実。

【今年度の取組紹介】

本年度は例年にも増して地域の皆さんと児童との交流が盛んに行われました。地域の方からいただいた花苗を児童と地域の方とでいっしょに定植するなどの環境整備活動の他、さまざまな授業や活動で見守りや支援をいただき、子どもたちの学習活動が大変充実したものになるとともに、子どもたちも自分たちが暮らす地域への理解を深め、地域の皆さんとのつながりを深めることができました。

毎日の登下校時の安全見守りや、JAの協力を得てのバケツ稲作り、平和学習や地域を知る学習、障害者理解の授業での盲導犬とのふれあいなど、地域の方のご協力により、学習内容を深めることができました。こうしたつながりを、来年度以降もより深めていきたいと考えています。



【今年度のまとめ】

地域教育協議会設立から8年、年ごとに、地域と小中学校との結びつきが強まってきました。環境整備支援、読書活動推進、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等、多くのボランティアが参加してくださっています。子どもたちと地域の方々が出会い、ふれあい、多くの経験をすることで、大人も子どももこの地域の中での存在意義を強く意識することができました。また、「めざす子ども像」について学校と地域との話し合いの機会をもって「思い」を共有したことは、小中一貫教育推進の大きな推進力となりました。一方、多くの方にボランティア登録していただきながら、参加していただく機会が少ないことが課題で、今後とも、改善していく努力が必要と考えています。

【来年度に向けて】

「学校支援情報」と「ボランティアカレンダー」の配布やホームページによる広報を継続しながら、学校もボランティアもともに「良かった」と思えるような活動内容と、十分な活動機会を設けるように工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域の教育力を生かした幼小中連携教育

—豊かな心を育み、たくましく生きる幼児の育成—

【今年度の取組紹介】

ふれあいコンサート（近大生）

地域の中にある近畿大学農学部吹奏楽部の学生を招き、子どもたちの聞き慣れた曲を体で感じたり、実際に楽器に触れたりしながら鑑賞でき、楽しみながら貴重な経験ができました。



ワクワクダンス（リズム体操）

昨年度、子どもたちの運動能力の低さの課題から、地域在住の方をインストラクターとして招き、楽しみながら子どもたちのバランス、体幹を鍛えていこうと計画しました。年に4回リズム体操を体験して、「リズム、拍」を体で感じました。最後の日には簡単な創作ダンスを子どもたちが自分たちで考え、講師の先生と共に、地域、保護者の方々も招き楽しい一時を共有することができました。



【今年度のまとめ】

- ・地域の方々や保護者に協力していただき、様々な事業に取り組みながら、子どもたちは、一つ一つの感動体験を味わうことができました。その中で、「楽しかったね。また、やってみたいなあ。」と次につながる意欲が生まれてきたと思います。
- ・地域の行事に参加することで、幼稚園の子どもたちのことを広く地域の方々に知ってもらえる機会になりました。また、小中学校、奈良西養護学校、未就園児、保育園との交流、近大生や一人暮らしの方たちなど様々な人たちとの関わりを重ねることにより、やさしさや思いやり、相手の気持ちに気付く心が育ってきました。

【来年度に向けて】

次年度も地域の方々や保護者の協力をいただきながら、様々な人たちとのかかわりを大切にし、コミュニケーション能力や運動能力を高めるために、豊かな経験を多く取り入れていきたいと思いません。